



多施設で利用可能な看護ケアクリニカルパスの開発④ ーデータ移植の困難な要因ー

○近藤恵美子¹⁾ 船田千秋²⁾ 清水弥生³⁾ 溝田園子⁴⁾ 森本麻里⁴⁾
 1) 社会医療法人石川記念会 HITO病院
 2) 名古屋大学付属病院
 3) NHO四国がんセンター
 4) 一般財団法人永頼会 松山市民病院

HITO 病院

はじめに

- ・化学療法の安全性の向上により、通院可能患者の外来治療への移行が進んでいる。
- ・治療の安全と看護介入の標準化や質の担保には、化学療法(汎用)看護ケアパスは有効なツールと考える。



IHG がん・ホスピスケアグループ

Copyright 2015 SHIRAKAWA HEALTH CARE GROUP

HITO 病院

活動内容

1. 方法

- ①A県がん拠点病院の化学療法(汎用)看護ケアパスを、県内同一ベンダーの電子カルテシステムを利用している施設間でデータ移植を行う。
- ②各施設で行われる化学療法で化学療法(汎用)看護ケアパスを運用し検証する。

2. 用語の定義

- ・データ移植: 同一電子カルテベンダーのシステム間でデータの受け渡しをすること。



IHG がん・ホスピスケアグループ

Copyright 2015 SHIRAKAWA HEALTH CARE GROUP

HITO 病院

データ移植

【同じベンダーで一括入れ込み可能な項目】

- パス基本情報(パスコード、パス名称等)
- ステップフロー
- ルート情報
- 職員用画面の表示用アイコン
- コメント
- BOM
- 観察項目(MEDIS用語分)**
- 移行条件



IHG がん・ホスピスケアグループ

Copyright 2015 SHIRAKAWA HEALTH CARE GROUP

HITO 病院

データ移植

【同じベンダーで移植できず手作業が必要な項目】

- 観察指示を含む看護指示オーダー
- 独自に追加した観察項目の用語
- 施設独自で作成したBOM
- 独自に追加した目標用語
- 検査結果
- 看護計画

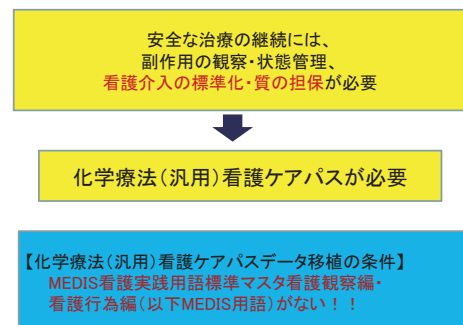


IHG がん・ホスピスケアグループ

Copyright 2015 SHIRAKAWA HEALTH CARE GROUP

HITO 病院

当院における問題



IHG がん・ホスピスケアグループ

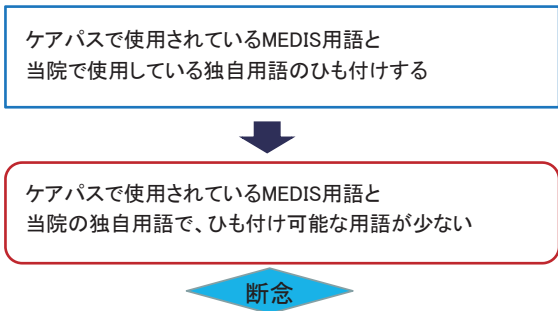
Copyright 2015 SHIRAKAWA HEALTH CARE GROUP

HITO 病院

看護で使用するマスタの違い

	A病院	B病院	当院
観察用語	MEDIS看護実践用語 標準マスタ 看護観察編	MEDIS看護実践用語 標準マスタ 看護観察編	独自用語
介入用語	MEDIS看護実践用語 標準マスタ 看護行為編	MEDIS看護実践用語 標準マスタ 看護行為編	独自用語
処置用語	独自用語	独自用語	独自用語
目標用語	BOM (Basic Outcome Master)	BOM (Basic Outcome Master)	BOM (Basic Outcome Master)

解決案1.



解決案2.

理解できるかな...

- ①MEDIS用語の登録
化学療法(汎用)看護ケアパスで使用されている
MEDIS用語を手作業でマスタ登録する

情報システム課に協力依頼



②化学療法(汎用)看護ケアパスの作り込み



パス委員会
クラークに協力依頼

結果

- ・独自用語で、MEDIS用語がなかったが、マスタ登録することにより、化学療法(汎用)看護ケアパスを作成することができた。
- ・同じベンダーの電子カルテシステムを利用している3施設間で、化学療法(汎用)看護ケアパスの使用が可能となった。

考察

- ・MEDIS用語がないことで、データ移植を困難としたが、手作業で入力することで、使用可能となった。
- 【今後の課題】
- ・化学療法(汎用)看護ケアパスを、当院で行われる入院および外来化学療法で運用を重ね、検証する。